

春が来たよ! さあ、みんなでミツバチを見つけにいこう!

みんなが大好きな、あまくておいしいはちみつは、ミツバチがくれる自然の贈りもの。知っているようで知らない、小さなミツバチたちの暮らしをのぞいてみましょう。



**ミツバチからの
たくさんのお恵み**

**はちみつは貴重な
自然からの贈りもの。**



ホットケーキにかけたり、カレーのかくし味につかったり。みんなが大好きなあまいはちみつは、ミツバチが一けんめい集めた花のみつから作られる自然の贈りもの。ミツバチからの恵みは、はちみつ以外にもたくさんあります。例えば巣を作るためのミツロウで、ク



**ミツバチは花からみつをもらったら、
ちゃんとお返しをしよう。**

ここ山田養蜂場では、ミツバチが好む花の種をまいたり、近所に配ったりして、はちみつを採取

約70年にわたりミツバチを飼ってきました。花が咲きみだれる春は、ミツバチたちがせっせとみつを集めはじめ季節。さあ、今日は小さなミツバチの暮らしを、いっしょにのぞいてみましょう。

しています。4月から5月は、養蜂家ははちみつを採取するのに大忙し。はちみつを採る季節が終

ミツバチについて
もっと知りたい方は

みつばち広場 検索

<http://honey.3838.com/>

わってからも、花の時期や気候に合わせて巣箱を移動させたり、冬にはちみつの貯えが足りなければエサを与えたりと、一年を通してミツバチのお世話をしながらいっしょに暮らしています。

ところで、ミツバチは花からみつをもらって生活していますが、植物に何かお返しをしているのでしょうか? 実は、ミツバチは花から花へと飛び回ることで花粉を運び、おしべの花粉をめしべにつけて、新しい命が生まれる手助けをしています。ミツバチと植物はそ



**ミツバチは、短い一生の間どのくらい
はちみつを集めているのかな。**



**命に感謝しながら
いただきます**

一生けんめい花畑を飛び回り、花と巣の間を何度も何度も行き来するミツバチ。しかしその一生は約40日と短く、みつを集めるために飛び回れるのも、たった20日ほど



です。みなさんは、一匹のミツバチが一生涯かけて集めることのできるはちみつの量はどのくらいだと思いませんか? ミツバチは、集めてきた花のみつを水分を羽で吸い出して半分くらいは蒸発させるので、小さなスプーン一杯分にも満たないほど少ないのです。はちみつを



**ミツバチは家族と
支え合って生きている**



**ミツバチも人間と同じように、
助け合って仲良く暮らしているよ。**

春から夏にかけての巣の中には、一匹の女王バチと3万~4万匹のメスの働きバチ、1千~2千匹のオスバチが大家族で暮らしています。卵を産めるのは女王バチだけなの



食前には「いただきます」は、ほかの命をいただいて、自分が生かされていることへの感謝のことは。いただいた命に感謝しながら、おいしくいただきたいですね。

で、巣の中のミツバチたちはみんな女王バチの子どものです。ミツバチは一匹では生きられません。どんなミツバチにも大切な役割があり、仕事を分担しなが



ら家族で仲良く助け合っで暮らしているのです。その姿は、わたしたちに多くのことを教えてくれます。

「一番数の多い働きバチは成長するにつれて、巣をそうじする係や子ども世話を集める係へと仕事が変わるので大忙し。ミツバチはおなかにある「ろう腺」から出てくる「みつろう」を使って、こまかい六角形の部屋をいくつも



**豊かな自然環境はミツバチに
よって守られているんだよ**

**たくさん命をばいんでくれる
自然環境をみんなで大切にしよう。**

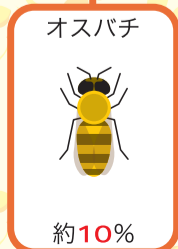
ミツバチが生きていくためには、豊かな自然環境がなければなりません。豊かな自然環境は、



ているなど、そのアイデアには驚かされます。



女王バチ



オスバチ

約10%



働きバチ

約90%

はそのつながりの中で、植物の受粉という大切な役割を果たしているのです。

そのミツバチが、最近少なくなっていると言われています。環境の変化や環境汚染など、その原因は色々と考えられますが、私たちの生活と深くかかわっているのは間違いないでしょう。

もし地球上にミツバチがいなくなったらどうなるのでしょうか? 多くの植物が実をつけることができなくなり、おそろく地球の環境は大きく変化してしまつてしまうでしょう。

ミツバチのことを考えることで、私たちの住む地球環境のことに目を向けてみましょう。